アイスプラネット（4）

椎名 誠

（九月の新学期が始まってしばらくした頃、ぐうちゃんは「僕」の家に帰ってきました。）

残暑が厳しい日だった。久しぶりにぐうちゃんのほら話を聞きたいと思った。①またからかわれてもいい。暑いから、今度は寒い国の話が聞きたい感じだ。

ところが、ぐうちゃんの話は、でっかい動物のでも、暑い国のでも、寒い国の話でもなかった。

「旅費がたまったから、これからまた外国をふらふらしてくるよ。」

ぐうちゃんは突然そう言った。※「でもまあもう少し。」にはこんな意味があったのか。ぐうちゃんはいつもと変わらずに話を続けている。それなのに、ぐうちゃんの声はどんどん遠くなっていく。気がつくと、僕はぶっきらぼうに言っていた。

「②勝手に行けばいいじゃないか。」

ぐうちゃんは、そのときちょっと驚いた表情をした。何かを話しかけようとするぐうちゃんを残して僕は部屋を出た。

それ以来、僕は③二度とぐうちゃんの部屋には行かなかった。

※「でもまあもう少し。」…以前ぐうちゃんは、いそうろうから卒業するように言う母に対し、「でもまあもう少し。」と答えていた。

確認テスト

本文を読んで、問いに答えなさい。

(1) ――線①「またからかわれてもいい」とあるが、なぜからかわれてもいいと思ったのか。適当なものを選びなさい。

ア ぐうちゃんはいつもほら話しかしないので、からかわれることを気にしてもしかたがないから。

イ たとえからかわれるとしても、ぐうちゃんの話を久しぶりに聞きたいと感じているから。

ウ 寒い国の話がどうしても聞きたいので、少しくらいからかわれてもがまんしようと思ったから。

〔　　〕

(2) ――線②「勝手に行けばいいじゃないか」とあるが、「僕」はなぜこう言ったのか。適当なものを選びなさい。

ア ぐうちゃんの話が自分に関わりのないものだと思い、別の話題に切り替えたいと思ったから。

イ ぐうちゃんから寒い国の話を聞きたいと思っていたのに、いつもと変わらない話を続けられて困惑したから。

ウ ぐうちゃんが外国に行ってしまうことを受け入れられず、「僕」の気持ちにおかまいなしの様子に怒りがわいたから。

〔　　〕

(3) ――線③「二度とぐうちゃんの部屋には行かなかった」とあるが、これはなぜか。適当なものを選びなさい。

ア ぐうちゃんがいなくなってしまうことがつらく、素直に顔を合わせることができなかったから。

イ ぐうちゃんが忙しいだろうと思い、話をするためだけに部屋に行くのをためらったから。

ウ ぐうちゃんが何を話しかけようとしていたのか見当がつかず、声をかけづらかったから。

〔　　〕